

メータ設置時の具体的な留意事項

①メータクロス防止について

複数のメータが並んで設置されている(取り付ける)場所で、2個以上のメータを引き換える(取り付ける)時、メータクロスが発生する危険性がある。

☐	現場とメータ引換票等の確認 (メータ引換え)	施工前に現場とメータ引換票等の内容を確認、照合する。 (部屋番号、メータ番号、既設識別標等)
☐	引換え(取付け)、伝票等記入は 1個ずつ	同時に複数のメータを取り外さずに、1個ずつ引き換え(取り付け)、メータ引換票等の伝票にもその都度記入する。
☐	再確認、通水確認	バルブ開栓時にも、「メータクロスはないか」を再度確認し、お客さま在宅のときは必ず通水確認を行う。識別標の設置が必要な場合は間違えないよう十分注意して設置する。

②メータ逆取付けの防止について

☐	流水方向の確認	(メータを取外す前に)配管の流水方向を十分確認する。
☐	メータの矢印を合わせて設置	新メータに表示してある矢印を流水方向に合わせて設置する。
☐	バルブ開栓、再確認 (パイロットの回転方向:時計回り)	バルブ開栓時にパイロットの回転方向(時計回り)を確認し、「正しい方向でメータが取り付けられてあること」を確認する。

③通水確認について

メータクロスの防止、メータ逆取付け防止、断水、出水不良、濁水のチェックのためにも通水確認は重要である。

☐	通水確認 (お客さま在宅の場合)	お客さま在宅のときは、お客さまの協力を求めて必ず通水確認を行う。
☐	バルブ開栓時にパイロット確認 (お客さま不在の場合)	お客さま不在のときは、バルブ開栓時にパイロットの回転を目視により確認する。
☐	バルブ開栓、再確認 (パイロットの回転方向:時計回り)	断水、出水不良、濁水の発生を予防するため、バルブの開閉はゆっくりと行い、急激な水圧の変動を避ける。

④漏水の防止について

☐	施工後の再確認 (ナット締め付け及びパッキン、伸縮パッキンの取替え)	引換え(取付け)作業終了後、漏水の有無について、必ず確認を行う。
--------------------------	---	----------------------------------

⑤メータの読針について

□ メータの読針、指針値記入等は正確に

メータの読針を正確に行う(桁が繰り上がるときは特に注意する)。メータ引換票等の伝票への記入は正確に行い、転記ミスにも充分注意する。

メータの読み方



⑥後片付け等の履行について

□ 戻り水等の処理

マンション等のパイプスペースの作業では、給水管内の戻り水をビニール袋に受けるなどして適切に処理する。

□ 後片付け等

古いパッキンは放置せずに持ち帰る。メータ室の扉は必ず閉じておく(現状復帰)。メータマス内の土砂を取り除いた場合は残土として持ち帰る。

⑥その他(メータ引換工事の場合)

□ お客さま対応、説明

お客さまに不信感を与えないよう、誤解を招かないよう対応する。水道局の請負工事であり、計量法または水道局の事業に基づくメータの引換であること、また、それに伴う費用は無料であることを説明する。マンション等で管理人が在室の場合は管理人にも説明する。

□ 腕章、身分証明書

作業者は、委託証明書、会社の身分証明書を胸に付け、腕章(「東京都水道局委託会社」)を必ず着用する。

□ 事前ビラの配布

「水道メータ取替えのお知らせ」または「水道スマートメータ取替えのお知らせ」を事前に戸別に必ず配布する。事前ビラは原則各戸配布であり、申し出が無い限り、管理人に一括して配布を依頼するようなことはしない。